

「まちゼミ」初開催!

もっと知ってもらおう 矢板市商工会

昨年、十一月六日(月)

十二月十日(日)、市

内三十三店舗で「まちゼミ」

五テーマ全四十八講座が初開催されました。

主催した矢板市商工会

の代田副会長、荒井振興

課長に商工会の役割につ

いてや「まちゼミ」開催の

理由、開催後の反応などを

伺いました。



●商工会の主な業務は?

商工会は、業種に関わりなく、地域の事業者が会員となって、お互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う団体です。経済活動を通じて地域を元気にし、にぎわいを創り出す取り組みを行っています。

具体的には、「経営指導員」が経営・金融・税務・労働など、経営全般にわたる相談に乗るなど、さまざまなサポートを行っています。現在、矢板市商工会には約七百の会員がいます。

●「まちゼミ」とは?

「まちゼミ」とは、店舗の方が講師となり、普段なかなか知ることのできないプロの知識を、コミュニケーションをとりながら学ぶことができる講座です。

販売ではなく、「お店のファンになってもらう」とを目的としているため、材料費を除き、受講は無料なので、気軽に参加していただけます。

●「まちゼミ」を開催した理由は?

理由は二つあります。一つ目は、商工会の活動が、軽トラ市や花火大会など、お祭りのようなイベント中心であると市民の皆さんに思われているのではないかと、もっと店舗と寄り添った活動ができないかと考えたからです。

二つ目は、各店舗の専門性について、お客さんに知られていないのではないかと、それを伝えたいと考えたからです。「まちゼミ」を機に、お客様と店舗

間での交流だけでなく、店舗同士の交流も図れるのではないかと思ひ、開催することにしました。

●県内で開催している市町村は?
宇都宮市、足利市、小山市、鹿沼市で開催されています。中でも、鹿沼市は、平成二十六年一月から、県内で初めて「まちゼミ」を開催した先進地であることから、昨年、七月十九日(水)に視察研修をしてきました。

また、全国では三百を超える市町村が「まちゼミ」を実施しています。



第4回研修会の様子

●「まちゼミ」開催前に行ったことはありますか?

全国商店街支援センターから講師を招き、四回、研修会を行いました。この中で、スケジュールの立て方や講座の作り方を学び、アドバイスを受けました。

普段、商工会と関わる方は事業主など男性が多いのですが、今回の「まちゼミ」では女性の参加者の割合が高く、心強く感じました。

●受講者はどういった方でしたか?

多くの店舗ではスペース的に多くても四五人しか参加できないこともあり、受講者は合計でも二百四十人ほどです。年代では五十〜六十代が半数を占め、一番多い職業は主婦となりました。

また、市内店舗へのチラシ設置に加え、矢板市および隣接市町に新聞折込チラシを配布したこともあり、受講者の約三割は市外からの方でした。

●店舗の反応はいかがです

です。(T・H)

●今後の予定は?

まだ日程などは決まっていませんが、今年もぜひ開催したいと考えています。店舗や受講者に協力いただいたアンケートをもとに、さらに多くの店舗・市民の皆さんに参加していただけるように頑張っていきたいです。

「初めてのお客様が来てくれてうれしかった」「好評だったので、講座の回数を増やした」との声がある一方、「もっと来てもらいやすい日時設定をしたい」「講座の時間配分に気を付けたい」など、次回の開催に意欲的な反省も聞かれました。



講座の様子 (フローレンス花美)